

## 編集後記

「環境と経営」の第2巻第1号（通刊第3号）をお届けします。創刊号以来の貴重なコメントを有難く御礼申し上げます。

長期不況のためか“環境”重視の経営が経済の活性化とはトレード・オフだとする焦りがあるようです。他方ダニエル・ベルは「もし、製鉄所が湖を汚し、その湖を浄化するために資源を用いるならば、その支出はGNPに加算される。GNPはつねに加算的であって、実際は負の行為でも加算してしまう」としてGNP指標を批判しました。（内田忠夫訳、脱工業社会の到来、ダイヤモンド社、1975）。

しかし、グリーン・マーケティングの如き発想で人々が本気になって“環境”にやさしい新製品の開発や社会の整備・改善に取り組むならば、クリントン大統領流のGDPを引用しなくても、GNPは結構「乙なもの」ではないでしょうか。官庁の経済予測は、いささか胡乱ではありますが、エコ・ビジネスだけでも6兆円規模であり、2000年まで年率8%の成長が見込まれています（環境白書1994、環境庁編）。さらに高齢化社会関連事業などを加えると、“環境”ビジネスは経営にとって、またとない金の卵かも知れません。

本誌の第4号（1996、10月予定）では、学内の「環境シンポジウム」の特集を予定しています。

1996年4月 木下 昭 記

### 編集委員（順不同）

北 見 俊 郎   木 下   昭   武 居 良 明  
山 村   学   近 藤 尚 武   松 本 幸 男  
Bryon L. Brunkow

## 環境と経営 第2巻第1号（通刊第3号）

1996年4月

発行者 静岡産業大学経営学会  
静岡県磐田市大原 1572-1  
TEL : 0538-37-0191（代）

編集者 木 下   昭

印刷者 佐 藤   一   二  
印刷所 （有）英和出版印刷社  
東京都北区中里 2-7-7  
TEL : 03-5394-4856